

勉強は楽しい、学ぶことの本当のおもしろさを提供します。

アカデミアだより

VOL7

～新春号 進級をひかえて～

《役割の確認》

学校の役割は 集団行動等 社会性を身につける場・・・①
学習すべき内容を知らせてくれる場・・・②

①より 生徒一人一人の能力育成は難しい

②より 学習内容の習得までは難しい

家庭の役割は 家庭生活習慣（家庭学習習慣も含めて）を整える（しつけの）場
学習内容のわが子の理解度を確認する場（定着を図るまではなかなか大変）

塾や家庭教師の役割は 家庭との連携をとりながら、「考える力」と「質問する力」を
養成しつつ、学習内容の習得を図る場

《伸びる子の必要条件》

考える力：相手の言うことをよく聞き、理解する。また抽象的なことをイメージする力

質問する力：問題意識をもち、自ら解決しようとする行動力

・・・この2つが必要です。そしてこれらは年代によって目指すものが違います。

小1～小3：好奇心がいっぱいなこの年代は、**親との会話（言葉）**によるやり取りが重要。ゆっくり 丁寧に、急かさない。
教科的には（反復による定着を促している）教科書なので その理解が最も大切。少しずつよいので毎日取り組む。

小4～小6：学習項目が一気に増加する時期。それは小3までの考える力の土台があることを前提にしているから。
最重要時期 時間をかけて ていねいに理解を進める。教科的には**算数の文章題が最適、理社は中学の土台** 気を抜けません。
また 質問する能力が備わっていないと “隠れできない子” に。テストの得点だけでは問題点を見逃すことも。
更に家庭学習習慣は大丈夫でしょうか？宿題内容も大切です。音読 計ド 漢ドだけでは・・・。

中1～中3 小6までの学習習慣と考える力が育っていないと伸び悩みます。数学の文章題 英語の読みは最重要。
理社は学年格差（中1だから簡単 という作り方ではない教科）がありません。中1から真剣勝負です。
どの教科も それぞれ獲得すべき学力があります。丸暗記やテスト直前の詰め込み作業は真の学力獲得にはなりません。

《当塾でおこなうこと》

- (1)専任教師による学習内容の根本理解を促す授業を 実施します。（全学年）
- (2)ワークショップや対話読み指導を通じて、実感と感動を与える指導をします。（小学生）
- (3)毎日の課題（宿題）を通じて、「考える力」を養成します。（平日5日間 毎回45分～1時間程度の学習量です）（全学年）
- (4)「質問する力」をつけるために 『質問ノート』を作り、1対1の対応をします。（全学年）
- (5)毎週授業内で 生徒一人一人にコーチングします。学習の問題点 課題の取り組み状況 生活のアドバイスをします。（全学年）

最後に 「塾は中学に上がってから、小学生のうちはまだ早い・・・」という声を よく聞きます。しかし本当に大切なのは
小4～小6期だと痛感しています。この時期に学習の意義を理解し、なすべきことを丁寧にやるべきです。

小中生対象

英才教室 **岐阜アカデミア 本荘校** 説明会 毎週日曜日 午前10時～
TEL **058-377-2561** **新学期生受付中**
受付・お問合せ 14時～（月～土） 〒500-8323 岐阜市鹿島町7-18-1 市川ビル2F

